

施策	施策概要	戦略的取組	施策区分	現状・課題	取組方針	主な取組事業
<p>多彩な交流による観光の活性化</p>	<p>このページは、市内観光の活性化に向けた取組みを掲載しています。市内には、宗像大社をはじめとして、道の駅むなかた、グローバルアリーナ、正助ふるさと村、唐津街道などの観光名所や施設が多くあります。また、四季を通じて様々なお祭りやイベントなども開催されています。市の観光資源を活かして、旅行者を地域に呼び込むことにより、まちが賑わう仕組みづくりとなる宗像版観光プラットフォームを推進します。</p>	<p>【協働】 ●観光協会や観光業者と協働で観光情報の収集、共有や旅行会社、広告代理店、出版社などへの働きかけを行います。 ●地域と協働で、市内の回遊性を高めるための地域観光ルートの設定、イベント、情報発信などを行います。</p> <p>【都市ブランド】 ●若い世代や子育て家族にとって魅力的な観光スポットの創出やサービスの提供を行います。 ●観光資源等の情報発信による市の認知度向上を図ります。</p>	<p>観光資源の魅力向上</p>	<p>市内北部の観光スポットを回遊する仕組みはできつつありますが、北部以外の回遊性は低い現状にあります。そのため、観光情報の発信、観光案内の充実、受入体制の充実を図っていく必要があります。また、世界遺産登録を推進している「宗像・沖ノ島関連遺産群」、その他の歴史、文化遺産や日本風景街道のルート指定を受けている唐津街道を大切に保存、活用していく必要があります。</p>	<p>観光拠点である道の駅むなかたと東部観光拠点施設(仮称)が連携を図りながら、市内の回遊性を高め、海外観光客の誘致も視野に入れた着地型旅行商品の開発や各地区にある観光ボランティアとのネットワーク化や観光プラットフォームへの取組みを進めていきます。また、「宗像・沖ノ島関連遺産群」などや唐津街道の街なみを保存、活用しながら、国内、海外からの観光客増加につなげ、まちの賑わいを創出していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●観光資源の魅力向上 ・観光拠点施設の観光情報発信機能の強化 ・季節を活かした観光プランの実施 ・いつもきても楽しめる観光プランの実施 ・事業者向けのおもてなしセミナー等の開催 ・観光ボランティアガイドの育成、充実 ・観光ボランティアネットの構築 ・観光サインの整備 ・唐津街道活性化の推進
			<p>広域観光ネットワークの構築と活用</p>	<p>近隣自治体と連携し、広域観光マップの作成、旅行会社招聘事業等を行っていますが、なかなかツアー造成につながらないのが現状です。そのため、福岡市、北九州市、周辺の知名度の高い観光地を有する市町村などと連携することで、民間事業者による旅行商品の開発を進め、広域による観光客の増加につなげていく必要があります。</p>	<p>近隣自治体と引き続き連携していくとともに、国内外の玄関口でもある福岡市、北九州市や周辺の知名度の高い観光地を有する市町村などと連携し、相互に観光情報を発信することで、民間事業者による旅行商品の開発を進め、観光客の増加につなげ、まちの賑わいを創出していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●広域観光ネットワークの構築と活用 ・新たな広域観光マップ、観光ルートの随時見直し ・広域での旅行会社の招聘 ・民間事業者による旅行商品の開発、タイアップモデルツアーの実施

※観光地域づくりプラットフォームとは、着地型旅行商品の販売を行うため、地域内の着地型旅行商品の提供者と市場(旅行会社、旅行者)をつなぐワンストップ窓口としての機能を担う事業体をいう。
 ※着地型旅行商品とは、旅行先の地域が主体となり、各種体験や地元産品等当該地域ならではの観光資源を活用して造成された旅行商品をいう。

施策	施策概要	戦略的取組	施策区分	現状・課題	取組方針	主な取組事業
<p>地域産業の活性化</p>	<p>このページは、地域産業(農業・水産業など)の活性化に向けた取組みを掲載しています。 農業・水産業においては、本市の豊かな自然に育まれた安全で安心な農産物、水産物を持続的かつ安定的に供給するため、農業者や漁業者などが安心して生産、漁獲できる取組みを展開していきます。 また、観光拠点である道の駅むなかたを通して、観光による農産物、水産物の認知度向上や消費の拡大を図っていきます。 商工業、企業誘致においては、市内の商工業発展へ向けた助成制度の充実や新たな雇用を生み出す企業誘致や起業支援への取組みを展開していきます。</p>	<p>【協働】 ●生産者、食品加工事業者、漁協、農協等と協働で、産業の活性化を図るための農業、水産業の6次産業化を推進します。</p> <p>【都市ブランド】 ●宗像産の新鮮で安全安心な農水産物をどこでも提供します。</p>	<p>産業の基盤強化</p>	<p>水産業においては、魚価の低迷、燃油の高騰に加え、漁獲量の減少などから所得が伸び悩んでいます。 農業においては、食料自給率の低下、長引く農産物価格の低迷等により所得水準が伸び悩み、農業就業者の減少と高齢化が進行しています。また、耕作条件が不利な農地を中心に耕作放棄地が増加するとともに、有害鳥獣による農作物への被害などが拡大する傾向にあります。 商工業においては、事業所数の減少によって、市内の経済活動が縮小傾向にあります。 そのため、安心して経営できる環境を整え、経営の安定を支援していく必要があります。</p>	<p>水産業においては、漁協と連携を図りながら、加工、販売などの6次産業化の推進、漁場の再生、資源回復、付加価値の高い水産物の養殖に向けた調査・研究などを行っています。 農業においては、むなかた地域農業活性化機構、農協などと連携を図りながら、新たな農業者の育成、確保をはじめ、認定農業者等への農地集積や機械、施設の導入など生産条件の整備を進めるとともに、耕作放棄地化を防止し、その解消に取り組めます。また、猟友会と連携しながら、有害鳥獣を捕獲し、農業被害を減らしていきます。 商工業においては、商工会との連携を図りながら、地域の商工事業者に対して経営を安定化させる助成制度を活用するとともに、販路拡大への取組みや仕組みを構築し、商工事業者の経済活動を支援していきます。 企業誘致においては、市内外の企業や近隣市町の動向をみながら、誘導対象業種の絞込みや新たな産業用地の開拓、起業の推進に取り組めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●産業の基盤強化 ・農産物、水産業の6次産業化の推進 ・漁場再生事業の充実 ・新規就農者への支援 ・耕作放棄地への対策の実施 ・農地の利用集積 ・中山間地域等の農業支援 ・販路拡大事業の推進 ・有害鳥獣の捕獲 ・中心商業地等活性化の推進 ・中小企業融資助成事業の充実 ・起業育成事業の推進 ・起業に対する支援、援助の実施 ・企業立地促進補助金事業の充実
			<p>農産物、水産物の消費拡大</p>	<p>市内の農産物、水産物の品質は、非常に高いものがありますが、まだまだ市外での認知度は十分ではありません。 そのため、農産物、水産物のブランド化を進め、知名度を向上させ、市外での消費を拡大させていくとともに、域内での消費も拡大させていく必要があります。 また、産業の活性化のため、市内の農産物、水産物を活用した起業を推進していく必要があります。</p>	<p>農協、漁協などと連携して、市内でとれた農産物、水産物のブランド化を推進し、市外へ発信していくことで、市外への販路拡大や消費拡大を図っていきます。 また、意欲のある人や地元産食材を使った市内飲食店、加工会社への支援を行い、起業の推進を図っていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●農産物、水産物の消費拡大 ・農産物、水産物の6次産業化の推進(再掲) ・特化した農産物、水産物のブランド化の取組 ・ブランドを活かした販路拡大、消費拡大の推進 ・域内消費拡大のための情報発信 ・グリーンツーリズム、ブルーツーリズムの推進 ・起業に対する支援、援助の実施(再掲) ・起業育成事業の推進(再掲)
			<p>観光関連産業の活性化</p>	<p>年間100万人を超える人が道の駅むなかたを訪れていますが、買物客が多く、観光としての滞在時間が少ない現状にあります。 そのため、買い物だけでなく、道の駅や周辺の観光資源を中心とした観光、体験など多様な目的で市を訪れてもらい、観光による交流人口を増やし、地域産業の振興につなげていく必要があります。</p>	<p>道の駅むなかたで観光情報の集約を行うとともに、道の駅むなかたや東部観光拠点施設(仮称)を中心として、その周辺の強化を図るため、国道495号沿いや唐津街道に観光、商業のための店舗誘導を行っていきます。 また、市内の観光資源を活かした魅力ある観光メニューを開発、提供し、観光による交流人口を増加させ、消費の拡大を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●観光関連産業の活性化 ・観光拠点施設の観光情報発信機能の強化(再掲) ・国道495号沿いや唐津街道への店舗誘導と支援策の調査研究 ・観光関連事業者の育成支援 ・体験型観光を活用した交流事業の推進 ・特産品の開発

施策	施策概要	戦略的取組	施策区分	現状・課題	取組方針	主な取組事業
<p>資源を活かした島の活性化</p>	<p>このページは、島の振興に向けた取組みを掲載しています。 大島には、観光拠点であるうみんぐ大島のほか、砲台跡、風車展望所、沖ノ島を望む沖津宮遙拝所などの観光名所が多数あります。 地島には、離島体験交流施設、皇室に献上されるわかめや島内約6,000本ともいわれる自生のヤブ椿の群落があります。 貴重な島の資源を活かした交流の促進により、島の担い手や外部人材を確保し、産業の活性化につなげ、島民が島で元気に安心して生活できる環境の整備を行っていきます。</p>	<p>【協働】 ●市民活動団体、コミュニティ、企業、大学等と協働し、島の活性化につながる体験交流プログラム等のメニューの開発を行います。 ●市民活動団体、コミュニティ、企業、大学等と協働し、島の担い手を確保するための人材の交流、育成を行います。 【都市ブランド】 ●島ならではの体験プログラムとおいしい食事を提供します。</p>	<p>特色を活かした島づくり</p>	<p>少子高齢化や急激な人口減少により島の賑わいが衰退しつつあります。 そのため、島の施設を活用しながら、自然や歴史、観光スポットなど恵まれた島特有の資源を市外に情報発信し、交流人口の増加により島の賑わいを創出していく必要があります。</p>	<p>大島においてはうみんぐ大島を、地島においては離島体験交流施設(仮称)を、島の拠点として、地域資源を活かした産業の活性化、交流人口増加につながる漁業、農業体験、島生活体験などの島体験プログラムを開発し、実施していきます。 また、島特有の自然や大島では世界遺産登録を推進している「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産である中津宮、沖津宮遙拝所や砲台跡、御嶽山展望台等を活用した島の観光を推進するため、島内外の環境整備を行っていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●特色を活かした島づくり ・島体験プログラム事業の充実 ・遊休地利活用事業の推進 ・特産品開発の取組 ・島の交通体系の整備 ・つばきロード、九州オルレ、構成資産を活用したウォーキング・バスハイク事業の推進 ・観光案内ボランティア養成事業の充実
			<p>島の産業基盤の強化</p>	<p>水産業においては、魚価の低迷、燃油の高騰に加え、漁獲量の減少などから所得が伸び悩んでいます。(再掲) また、農業においては、農業の担い手が少なくなり、耕作放棄地の解消とその有効利用が必要です。</p>	<p>水産業においては、漁協と連携を図りながら、6次産業化の推進、漁場の再生、資源回復、付加価値の高い水産物の養殖に向けた調査・研究などを行っていきます。(再掲) また、農業においては、農地の保全と有効活用を図るため、地域の特性を活かした付加価値の高い農産物栽培の奨励、体験農園等の観光への活用、花苗等の景観作物の植栽等の取り組みを支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●島の産業基盤の強化 ・農産物、水産業の6次産業化の推進(再掲) ・漁場再生事業の推進(再掲) ・特化した農産物、水産物のブランド化の取組(再掲) ・中山間地域等の農業支援(再掲) ・耕作放棄地対策(再掲) ・体験農園、景観作物栽培事業の推進
			<p>島独自の人材育成</p>	<p>島においては、コミュニティ、島づくり団体を中心に地域づくりを進めていますが、少子高齢化や人口の減少によって、島民による自主的活動、自立的活動の担い手が不足する恐れがあります。 そのため、後継者の育成、外部人材の受入れによる人材の確保、活用が必要となってきます。</p>	<p>島での様々な課題を解決するため、島内と島外を結ぶ中間支援組織を育成し、島全体を担ってもらうとともに、島における人材の確保のため、大学、企業からの短期人材派遣の受入れを行っていきます。 また、島の魅力を実感できる授業を行うことにより、後継者となりうる人材の育成を目指します。 さらに、漁村留学により校区外の児童の受入れ、教育活動の充実を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●島独自の人材育成 ・中間支援組織の確立 ・離島体験交流事業や人材育成事業の実施 ・島独自の人材育成プログラムの実践

※この施策における中間支援組織とは、離島振興に関する各種の事業を実施する上で不足している人材を島内及び島外から確保するための組織をいう。
確保した人材を活用し、中間支援組織が主体となり様々な事業を展開していくこととなる。大島:元気な島づくり事業推進協議会 地島:元気な地島づくり協議会

施策	施策概要	戦略的取組	施策区分	現状・課題	取組方針	主な取組事業
<p>歴史・文化遺産の保存と活用</p>	<p>このページは、世界遺産登録を目指している「宗像・沖ノ島と関連遺産群」やその他の歴史・文化遺産、伝統文化の保存、継承、活用に向けた取組みを掲載しています。</p> <p>「宗像・沖ノ島と関連遺産群」は世界遺産登録後も、その価値が失われないように保存していきます。</p> <p>また、海の道むなかた館を通して、市民がこれら貴重な遺産や文化に対する理解を深め、まちに愛着や誇りを持つような取組みを行っています。</p>	<p>【協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の価値を共有するため、市民や他自治体と協働で講演会やイベントなどの啓発活動を実施します。 ●貴重な歴史文化遺産、芸能、伝統文化を保存、継承するため、市民活動団体、コミュニティ運営協議会等と協働で調査、管理などを行います。 <p>【都市ブランド】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●すばらしい郷土の歴史文化、芸能、伝統文化、自然環境などを次世代の子どもたちに伝え、住みたい、住み続けたいと思えるまちにします。 ●「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の価値を証明し、世界遺産登録を推進することで、ブランド力を高め、世界に誇れる宗像市を目指します。 	<p>世界遺産登録推進及び保存、活用</p>	<p>「宗像・沖ノ島と関連遺産群」は、平成21年1月ユネスコの世界遺産暫定リストに記載され、世界遺産登録を目指して関係団体が連携、協力しながら、価値の証明、資産の保存管理のための調査、研究等を行っていますが、国内外とも認知度が低い状況にあります。</p> <p>そのため、登録活動に加え、多くの人たちにその価値を知ってもらうための啓発活動を行っていく必要があります。</p> <p>また、その価値が失われないように保存、活用していく必要があります。</p>	<p>「宗像・沖ノ島と関連遺産群」について広く国内外に情報を発信し、多くの人たちに認知されるように周知、啓発活動を行います。</p> <p>また、世界遺産登録活動をとおして、市民が郷土の歴史文化や自然に誇りをもち、住んでいて良かったと思うまちづくりを進めていきます。</p> <p>加えて、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の価値を失うことのないように構成資産のモニタリングを行い、あわせて沖ノ島を除く構成資産の適切な活用及び観光誘導に努めていきます。</p> <p>また、資産周辺の緩衝地帯は、世界遺産のあるまちにふさわしい環境整備を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●世界遺産登録推進及び保存、活用 ・宗像・沖ノ島世界遺産市民の会の行う啓発や保存管理活動に対する支援 ・構成資産や緩衝地帯の保存、管理モニタリング事業の実施 ・他自治体との連携による世界遺産センター（仮称）の整備 ・景観グランドデザイン（仮）にそった沿道景観等の整備（再掲） ・国内外にむけての啓発イベントの開催、情報発信の充実
			<p>歴史文化遺産の保存</p>	<p>市内には国指定史跡田熊石畑遺跡、桜京古墳をはじめ多くの文化財が点在しています。それら貴重な宗像遺産も同様に大切に保存していく必要があります。</p>	<p>国指定史跡田熊石畑遺跡、桜京古墳や宗像大社、鎮国寺、八所宮などの寺社、さらに未指定の文化遺産についても、調査、研究、整理を行い、宗像遺産整備活用計画を策定して、貴重な歴史文化遺産を適切に保存していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史文化遺産の保存 ・田熊石畑遺跡の保存、活用 ・桜京古墳整備事業の推進 ・宗像遺産整備活用計画の策定
			<p>歴史文化遺産の継承</p>	<p>市の歴史文化は豊かであり、芸能、伝統文化は市の成り立ちを知るうえで大変貴重なものといえます。しかし、各地域に根付いてきた芸能、伝統文化は、担い手不足などが原因で継承が困難なものもあります。</p> <p>また、市の歴史文化を再確認し、地域を中心とした芸能、伝統文化への理解を深めていくことも必要です。</p>	<p>海の道むなかた館を通して、市民が郷土の歴史文化や伝統文化に触れ、学べる場を提供し、歴史文化、芸能、伝統文化の継承活動に対する支援を通じて、担い手づくりを進めていきます。</p> <p>また、すでに合併前の市町村でそれぞれ編さんしている旧宗像市史、玄海町誌、大島村史、これまでの市内外の諸研究を参考に、最新の成果を加えた市史を編さんし、次世代に宗像市の歴史文化を引き継いでいきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史文化遺産の継承 ・地域の歴史文化、芸能、伝統文化の継承活動に対する支援 ・歴史体験学習やイベントの実施 ・地域学芸員の養成や支援の拡充 ・市史の編さん
<p>歴史文化遺産の活用</p>	<p>市には貴重な歴史文化、伝統文化が数多くありますが、あまり認知されておらず、観光資源としても活用されていない状況です。</p> <p>そのため、それらの歴史文化を市内外に発信し、認知度を高めていくために、海の道むなかた館を核にして、歴史文化のネットワークを構築する必要があります。</p>	<p>市にある「宗像・沖ノ島と関連遺産群」、国指定史跡田熊石畑遺跡、桜京古墳などや無形の歴史文化、伝統文化を市民の生涯学習、子どもたちの学校教育などで活用していきます。</p> <p>また、海の道むなかた館では、親子を中心に楽しく学べる体験学習などを行います。</p> <p>さらに、地域学芸員や市民ボランティアの育成に努め、市内外に情報を発信し、海の道むなかた館を核にした歴史文化のネットワークを構築することで、観光とともに地域経済や産業の活性化につなげていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史文化遺産の活用 ・歴史文化遺産の学校教育での活用 ・市民団体や教育機関等と連携した学びの場を提供 ・海の道むなかた館での体験学習の充実 ・歴史、観光ボランティアの育成や支援の拡充 ・文化財の展示やイベントの実施 ・市民協働による国指定史跡田熊石畑遺跡や桜京古墳の整備と活用 			

施策	施策概要	戦略的取組	施策区分	現状・課題	取組方針	主な取組事業
生涯を通じた学習の振興	<p>このページは、生涯学習、文化芸術活動の推進に向けた取組を掲載しています。</p> <p>市民活動の拠点であるメイトム宗像や市民図書館を通して、ボランティア団体や関係機関と連携を図りながら、市民の生涯学習を支援します。</p> <p>また、様々な分野で自発的に学習できる機会を創出し、市民が学んだ成果を広くまちづくりに生かすことができるよう、活動の場の提供を行います。</p> <p>宗像ユリックスを文化芸術の拠点として整備し、文化芸術の推進を図っていきます。</p>	<p>【協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民活動団体、コミュニティ、宗像ユリックス等と協働し、文化芸術活動の場づくりや学習機会の充実を図ります。 ●ボランティア、市民活動団体、コミュニティと協働で、小さなころから本に親しむ機会を創出します。 <p>【都市ブランド】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●将来を担う子どもたちに宗像ユリックスやコミュニティ・センターなど身近な場所で音楽などの文化芸術にふれられる機会を提供します。 ●子育て世代が何度も行きたくなくなるような図書館サービスを提供します。 	学びや活動ができる場の提供	<p>市内には様々なことを学びたい、体験したいと考えている市民や実際に学び、活動したいと考えている市民が多くいます。しかし、学びたいと思ってもどこで行っているかわからない、せっかく学んでもどこに活動できる場があるのかわからない、活動の場が少ないのが現状です。</p> <p>そのため、意欲ある市民への情報発信と学びの成果を発揮できる場の提供が必要となります。</p>	<p>福祉、子育て、環境、文化芸術、歴史などを市民が自発的に学び、参加する機会を拡充するため、生涯学習事業の機能充実を図っていきます。</p> <p>また、市民学習ネットワーク、中間支援組織、市民活動団体、地域と連携して、学べる場の提供や学んだ成果を広くまちづくりに活かす活動の場の提供を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●体験や活動ができる場の提供 ・各種団体情報の集約と発信 ・市民学習機能の充実、情報の集約、定期的な情報発信 ・地域活動への参画促進 ・地域と市民活動団体の連携強化による協働事業の推進
			文化芸術活動の充実	<p>市内で文化芸術活動を鑑賞できたり、学べたりする場所は、その拠点である宗像ユリックス、一部の学校やコミュニティ・センターに限られている現状にあります。</p> <p>また、若手芸術家やプロを目指そうとする芸術家が市内で活動せず、福岡市などの大都市へその舞台を求めている状況もみられます。</p> <p>そのため、宗像ユリックスだけでなく、広く市内で文化芸術活動を鑑賞できる場の拡大、芸術家などが市内で活躍できる場の拡大や文化芸術を異分野で活用していく必要があります。</p>	<p>「音楽があふれるまち」を基本として、宗像ユリックスを中心とする文化芸術活動の情報発信や収集、プロやアマチュアの若手音楽家に活動の場を提供しながら、市民が音楽に触れる仕組みづくりを整備していきます。</p> <p>また、市民による文化芸術活動を積極的に支援していきながら、医療、福祉や観光など異分野で波及させるための取組を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術活動の充実 ・文化芸術活動の情報発信と収集の充実 ・文化芸術活動団体、若手芸術家の活動支援 ・音楽鑑賞出前事業の充実 ・子どもの音楽活動支援事業の充実 ・文化芸術活動のコーディネーター養成 ・文化芸術異分野活用のネットワーク化
			市民に身近な図書館づくり	<p>市民図書館は、赤ちゃんから高齢者まで、すべての市民の「読むこと」「調べること」に対応し、支援しています。しかし、市民のニーズが多様化し、さまざまな支援が求められています。</p> <p>そのため、市民図書館では、市民の疑問や課題を解決するための資料や情報の提供、運営方法を検討していく必要があります。</p>	<p>市民のニーズを把握しながら、赤ちゃんから高齢者まで、市民の一生を本で支援する市民図書館サービスに取り組みます。</p> <p>また、市民図書館が生涯学習、読書支援、生活情報入手の拠点施設として、幅広く資料を収集し、多様な読書ニーズに対応していきます。</p> <p>加えて、図書行政の本質を見極め、図書館運営のあり方を調査、検討し、効果的な運営に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市民に身近な図書館づくり ・読み聞かせによるコミュニケーションの促進 ・家庭・地域・学校等における子どもの読書活動の推進 ・高齢者や障がい者が利用しやすい環境の整備 ・大島、地島での読書活動の推進 ・公共施設での本の貸出、返却サービスの拡大 ・読書ボランティアの育成、活動の場の提供 ・大学との連携による図書講義や読み聞かせ講座の開催 ・図書館運営の調査研究

※この施策における中間支援組織とは、様々な分野での市民主体のまちづくりを推進するうえで、市民・市民活動団体・コミュニティ運営協議会・大学・企業・行政が連携して活動していくためのパイプ役として、中立的な立場で各々のつなぎや提案・調整・支援を行う民間組織をいう。

施策	施策概要	戦略的取組	施策区分	現状・課題	取組方針	主な取組事業
<p>スポーツの多面活用</p>	<p>このページは、スポーツの魅力や可能性を引き出す取組を掲載しています。 スポーツを「する」ことで、体力、運動能力の向上、生活習慣病の予防を促進し、スタジアムやメディアを介して「みる」こと、ボランティアなどを通して「支える」ことで、人間性、協調性、社会性を育成するなど、スポーツを通して市民が生きる活力を持つための取組を行います。 また、子ども、高齢者や障がい者を含むすべての人が、生涯にわたりスポーツと親しめるように、機会や場の提供、施設の整備などスポーツ環境の充実にも努めます。 更に、スポーツを通じた観光事業も実施していきます。</p>	<p>【協働】 ●地域や大学などと協働で市民のスポーツ参加機会の拡充や体力づくり支援などを行います。 ●市民活動団体、コミュニティ、企業と協働でスポーツ大会の誘致やイベントの開催を行います。</p> <p>【都市ブランド】 ●スポーツに良好な環境の中でスポーツの体験会や体育、スポーツ活動の支援体制の整備などスポーツを通じた子育て環境の更なる充実に取組み、これをアピールしていきます。 ●スポーツ観光の充実により市の認知度向上を図ります。</p>	<p>運動、スポーツを通じた健康活動、コミュニティ活動の増進</p>	<p>市は個人でウォーキングやジョギング、民間のスポーツ施設で運動をしている市民の活動実態までは把握できておらず、今後、この実態把握を進め、すべての市民が健康で楽しい生活を送れるような取組みを行っていく必要があります。 また、市内12地区で各コミュニティ運営協議会が、地域特性に応じた様々な住民間の交流事業を行っていますが、運動、スポーツを通じた住民間の交流は減少傾向にあります。 そのため、運動、スポーツをコミュニティに普及させ、地域住民の健康づくりと併せて、住民間の交流やコミュニケーションを増進させていく必要があります。</p>	<p>コミュニティ、市内3大学、民間などと連携し、運動やスポーツを市民の自主、自発的な活動だけでなく、地域で習慣的に楽しく運動、スポーツを行う市民を増やすための機会提供やネットワーク化を図り、市民の健康づくりを支援する仕組みを整えていきます。 また、全てのコミュニティでスポーツを通じた健康づくり、住民間の交流、コミュニケーションを増進させるため、運動、スポーツ活動を促進するためのサポート体制を整備していきます。</p>	<p>●運動、スポーツを通じた健康活動、コミュニティ活動の増進 ・企業、大学、コミュニティ等との連携による市民の健康活動の促進 ・個人運動者へのサポート体制の構築 ・グラウンド・ゴルフ、各種ウォーキング大会の開催 ・スポーツ指導者供給体制の整備及び地域への派遣 ・総合型地域スポーツクラブの設立、運営、活動の推進 ・地域特性にあったスポーツによる住民交流の促進プログラムの構築</p>
			<p>子どものスポーツ機会の充実、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進</p>	<p>本市における児童・生徒の体力は、全国傾向と同じく低下傾向にあり、体力づくりと将来にわたって運動、スポーツが好きになる取組を行う必要があります。 また、市民が生涯にわたり心身ともに健康で豊かな生活を営むためには、それぞれの地域において、ライフステージに応じた運動、スポーツプログラムの提供や活動支援をするための取組を行う必要があります。 加えて、本市の障がい者スポーツ支援は、スポット的な大会開催支援に留まっており、体系的に活動を支援する取組を行う必要があります。</p>	<p>児童・生徒の運動、スポーツ活動の支援については、複数スポーツ活動の検討や楽しく体を動かす運動遊びなど新たな機会の提供、小学校の体育、スポーツクラブ活動の支援体制を整備するなど、体力向上と将来にわたって運動、スポーツをすることが好きになる子どもを増やしていく取組を進めていきます。 また、それぞれの年代に応じたきっかけづくりのスポーツプログラムを提供しながら、習慣化へつなげていくサポート体制も整備していきます。 障がい者スポーツ支援については、障がいの種類や程度に応じて、障がい者が自主的かつ積極的にスポーツ活動を楽しむ環境整備や取組について調査、研究し、必要な措置を講じていきます。 これらの取組を推進するため、市を拠点に活動しているトップスポーツのチーム、スポーツ関係団体、学校、大学などが保有する人材、施設、設備、専門的知識などのスポーツ資産をより有効に活用していきます。</p>	<p>●子どものスポーツ機会の充実、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 ・企業、大学等との連携によるスポーツ指導者派遣システムの構築 ・コーディネーショントレーニングの導入 ・障がい者の運動、スポーツ活動の調査研究と事業の推進 ・トップアスリートとの交流事業の充実 ・スポーツ資産の有効活用</p>
			<p>スポーツ観光の推進</p>	<p>市内の民間スポーツ施設では、国際大会をはじめとする様々なスポーツ大会が開催され、スポーツ合宿などを含め、多くの人が市に訪れています。 また、本市には、ホテルや旅館などの宿泊施設が多数あり、近隣市には、野球場や多目的運動広場など充実したスポーツ施設があります。 そのため、スポーツを地域経済活動の活性化、市のイメージアップ、新たな情報発信手段として活用し、交流人口の増加につなげていきます。</p>	<p>国、九州レベルでのスポーツ大会やプロのスポーツ興行、合宿などの誘致や市主催の広域スポーツ大会やイベントなどを開催するため、スポーツコミッション組織を整備し、スポーツによる交流人口の増加を図ります。 また、スポーツ観光を推進することで市内外に情報発信を行うことにより、宗像の魅力の新たな形成やイメージアップにつなげ、本市への来訪者数や地域経済の活性化、定住人口の増加につなげます。 加えて、スポーツを「する」だけでなく、「みる」「支える」視点からも捉え、市内でのトップスポーツ観戦の提供やスポーツ大会やイベントなどの創り手、担い手として参画する市民ボランティアを育成していきます。</p>	<p>●スポーツ観光の推進 ・国、九州レベルのスポーツ大会の誘致、開催 ・スポーツコミッション組織の設立、運営 ・宿泊を伴うスポーツ合宿の誘致 ・スポーツ興行の誘致 ・トップスポーツ試合の地元観戦機会の提供 ・ウォーキング・トレッキングコースの整備 ・グラウンド・ゴルフ、各種ウォーキング大会の開催(再掲) ・各種媒体によるスポーツ情報の提供 ・スポーツボランティアの育成</p>
			<p>地域スポーツ環境の整備</p>	<p>市内には、市のスポーツ施設を始め、大学、民間のスポーツ施設も多くあります。 今後のスポーツ人口の増加に対応するため、市の施設については、引き続き市民に利用しやすい施設を提供していくとともに、大学、民間のスポーツ施設を有効に活用していく必要があります。 また、市民ニーズやスポーツ観光にも対応する施設整備をアセットマネジメントの視点に留意しながら行っていく必要があります。</p>	<p>今後増加が見込まれるスポーツ人口に対応するために、学校開放施設や市スポーツ施設の利用拡大、民間スポーツ施設の活用、都市圏を除く近隣市町のスポーツ施設の相互利用について検討し、必要なスポーツ活動の場の確保に努めます。 また、スポーツを多面的に活用するための施設整備を進めていきます。</p>	<p>●地域スポーツ環境の整備 ・小、中学校開放施設や市スポーツ施設の利用拡大 ・広域によるスポーツ施設の相互利用の実施 ・スポーツ施設の一元管理の導入 ・施設の再構築と新たな施設の調査検討</p>

※コーディネーショントレーニングとは、神経系の運動能力を高め、運動神経を鍛えるトレーニングのこと。
 ※スポーツコミッションとは、宗像市及び周辺地域にあるスポーツ資源や特徴ある観光資源を最大限活用し、各種競技大会等スポーツイベントの誘致に向け、宿泊、交通の手配など様々な企画、運営の支援を行うとともに、地域スポーツの振興と地域経済の活性化を図ることを目的に組織された団体のこと。